

問1 7世紀初め、聖徳太子が中国の隋に小野妹子らを派遣した外交政策の目的と、その内容を説明したものとして最も適切なものはどれですか。

(2026年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 蘇我氏が大陸との貿易を独占し、天皇を凌ぐ経済力を背景に権力を掌握するための私的な使節とするため | 2. 中国と対等な立場での外交を目指し、大陸の進んだ制度や文化を取り入れて天皇中心の国づくりに役立てるため。 | 3. 隋の皇帝から日本国王としての称号を得ることで、朝鮮半島での軍事的な優位性を確立するため。 | 4. 日本が中国の属国であることを認め、毎年の朝貢を約束することで日本国内の反乱を抑えるため。 |
|--|--|---|---|

問2 飛鳥時代において、中大兄皇子や中臣鎌足らが蘇我氏を倒したことを契機に、天皇中心の国づくりを目指して始められた政治改革の名称を、当時の日本で初めて使われた年号を用いて何と呼びますか。

(2019年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|----------|---------|---------|
| 1. 建武の新政 | 2. 大化の改新 | 3. 明治維新 | 4. 承久の乱 |
|----------|----------|---------|---------|

問3 古代日本が遣唐使を派遣し、唐の文化や制度を積極的に取り入れようとした背景や理由として、最も適切なものはどれか。

(2018年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 唐との間で大規模な戦争が続いていたため、和睦の条件として唐の文化を受け入れるよう要求されたため。 | 2. 唐の優れた制度を学ぶことで、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を強化しようと考えたため。 | 3. 唐から大量の宋銭を輸入し、日本国内の貨幣経済を急速に発展させる必要があったため。 | 4. 唐がモンゴル帝国に滅ぼされそうになっていたため、軍事支援を行う見返りに領土を譲り受けるため。 |
|---|--|---|---|

問4 894年に菅原道真の建議によって遣唐使の派遣が停止されましたが、その背景として当時の中国や東アジアの情勢を正しく説明しているものを選びなさい。

(2023年 秋田県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 派遣先の王朝が衰退して国力が弱まり、往復の航海に伴う危険に見合う成果が得られにくくなったため | 2. モンゴル帝国の勢力が拡大し、日本に対して服属を求める圧力が強まったため | 3. 平氏による日宋貿易が盛んになり、公的な使節を送らなくても物資が十分に入るようになったため | 4. 中国で仏教が弾圧され、日本が求める最新の仏教文化を学ぶことが不可能になったため |
|---|--|---|--|

問5 飛鳥時代の文化の特徴を記した資料において、その特色は「国際色豊かである」と説明されます。このように評される理由として、当時の寺院建築や仏像に見られる具体的な特徴を述べたものとして正しいものはどれですか。

(2024年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 中国の南北朝時代の様式だけでなく、インドや西アジア、さらには古代ギリシャに起源を持つ建築様式の影響が、寺院の柱などに見られるため。 | 2. 遣唐使によって唐の最新の文化が都である平城京に直接もたらされ、国際的な正倉院宝物などが数多く作られたため。 | 3. 禅宗の影響を受けた武士たちが、中国の宋や元の文化を取り入れ、水墨画や茶の湯などの簡素な美意識を確立したため。 | 4. 遣唐使が廃止されたことで、それまで伝わっていた大陸の文化が日本の風土に合わせて消化され、独自の「かな文字」などが生まれたため。 |
|--|--|---|--|

問6 天智天皇の死後に発生した大規模な後継者争いである壬申の乱に勝利し、即位したのち、天皇を中心とする強力な中央集権国家の体制を整えた人物を次の中から選びなさい。

(2025年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 桓武天皇 | 2. 聖武天皇 | 3. 推古天皇 | 4. 天武天皇 |
|---------|---------|---------|---------|

問7 法隆寺に代表される、飛鳥時代の文化の特徴を説明した文として最も適切なものを次の中から選びなさい。

(2020年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------|--|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 禅宗の影響を受け、水墨画や書院造などが発展した東山文化 | 2. 大陸の進んだ技術や仏教の影響を強く受けた、日本で最初の本格的な仏教文化 | 3. 東大寺の大仏に代表される、鎮護国家の思想に基づいた天平文化 | 4. 遣唐使の廃止に伴い、日本の風土や生活に合わせた独自の国風文化 |
|--------------------------------|--|----------------------------------|-----------------------------------|

問8 7世紀半ば、朝鮮半島の北部に高句麗、南東部に新羅、南西部に百済が位置していた時代、中大兄皇子らは、唐と新羅の連合軍によって滅ぼされた「半島の南西部に位置する国」を復興させるために大軍を派遣しました。この出来事に関連する戦いの名称として正しいものはどれですか。

(2026年 青森県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|----------|-------|-----------|
| 1. 白村江の戦い | 2. 刀伊の入寇 | 3. 元寇 | 4. 壇ノ浦の戦い |
|-----------|----------|-------|-----------|

問9 白村江の戦いでの敗北を受け、九州北部には水城や大野城といった防衛施設が次々と建設されました。これらの施設や海岸線の警備にあたるため、主に東国などの遠方から徴用され、九州へ派遣された兵士を何と呼びますか。

(2022年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| 1. 武士 | 2. 防人 | 3. 御家人 | 4. 健児 |
|-------|-------|--------|-------|

問10 645年から始まった大化の改新において示された、それまで有力な豪族が私有していた土地や人民を、国家（天皇）が直接支配する体制へと改める方針を何といいますか。

(2021年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|------------|
| 1. 地租改正 | 2. 版籍奉還 | 3. 公地公民 | 4. 墾田永年私財法 |
|---------|---------|---------|------------|

問11 聖徳太子が定めた「十七条の憲法」には、仏教の「三宝（仏・法・僧）を敬うこと」に加え、孔子の説いた儒教の思想に基づいた記述が多く見られます。当時の日本の政治状況において、儒教の考え方を法令に取り入れた主な目的として最も適切なものはどれですか。

(2018年 滋賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------|---------------------------------------|------------------------------|------------------------------------|
| 1. 庶民に対して厳しい罰則を設け、社会の犯罪を抑制するため | 2. 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、天皇に対する忠誠や秩序を保つため | 3. 遣唐使の派遣を停止し、日本独自の文化を形成するため | 4. 武士の台頭に備え、軍事力の強化を図るための精神的支柱とするため |
|--------------------------------|---------------------------------------|------------------------------|------------------------------------|

問12 8世紀初頭に大宝律令が制定された目的や、その後の社会の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。

(2020年 愛知県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 唐の優れた制度を取り入れることで、天皇を頂点とする官僚組織を整え、国家としての統治能力を高めるため。 | 2. 仏教を国教と定め、寺院が持つ強力な経済力や軍事力を国家の管理下に置いたため。 | 3. 地方の豪族に世襲の特権を強く認めることで、中央政府への不満を抑え、内乱を防ぐため。 | 4. 武士の台頭に対抗するため、貴族が土地を私有することを法的に認め、都の経済を安定させるため。 |
|---|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 中国と対等な立場での外交を目指し、大陸の進んだ制度や文化を取り入れて天皇中心の国づくりに役立てるため。	聖徳太子は、当時の進んだ法制度や仏教文化を学ぶことで、日本を天皇を中心とした中央集権国家にする狙いがありました。小野妹子が持参した国書には「日出づるところの天子、書を日没するところの天子に致す…」と記されており、これまでの朝貢外交とは異なる対等な外交を求めたことが特徴です。蘇我馬子は聖徳太子と協力して政治を行っていましたが、遣隋使は私的な使節ではなく国家の事業です。
問2	答え 2 大化の改新	645年に中大兄皇子（後の天智天皇）や中臣鎌足（後の藤原鎌足）が蘇我入鹿を倒した「乙巳の変」に始まる一連の政治改革です。日本で最初の元号である「大化」が定められ、天皇を中心とする中央集権国家の確立を目指しました。選択肢にある「建武の新政」は鎌倉幕府滅亡後の後醍醐天皇による改革、「明治維新」は江戸幕府滅亡後の近代化政策を指します。
問3	答え 2 唐の優れた制度を学ぶことで、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を強化しようと考えたため。	当時の日本は、豪族が割拠する状態から天皇を中心とする組織的な国家へと移行する過程にありました。唐の完成された律令制度や官僚制は、日本が強力な中央政府を作るための理想的なモデルであり、それを学ぶことが遣唐使の大きな目的でした。なお、宋銭の輸入は平安時代末期以降、モンゴル帝国による侵攻は鎌倉時代の出来事です。
問4	答え 1 派遣先の王朝が衰退して国力が弱まり、往復の航海に伴う危険に見合う成果が得られなくなったため	9世紀後半の唐では、国内で反乱が相次ぐなど政治的な混乱が続いて衰退しており、日本が学ぶべき魅力が薄れていました。また、東シナ海を渡る航海は非常に命がけであったため、菅原道真是費用やリスクに対して得られるメリットが少ないと判断し、派遣の中止を提案しました。これがきっかけとなり、日本の独自の風土に合わせた国風文化が発展することになります。
問5	答え 1 中国の南北朝時代の様式だけでなく、インドや西アジア、さらには古代ギリシャに起源を持つ建築様式の影響が、寺院の柱などに見られるため。	飛鳥文化は、朝鮮半島や中国の南北朝時代の文化を直接の源流としていますが、その背景にはシルクロードを通じた東西交流があります。例えば法隆寺金堂の柱に見られる中央が膨らんだ「エンタシス」という技法は、古代ギリシャのパルテノン神殿などにも見られるものであり、当時の日本が遠く西方の文化圏とも間接的に繋がっていたことを示しています。
問6	答え 4 天武天皇	天武天皇は、大海人皇子として壬申の乱で大友皇子（天智天皇の子）を破って即位しました。即位後は、官僚組織の整備や「天皇」という称号、「日本」という国号の使用を開始するなど、律令国家としての基盤となる中央集権的な仕組みを強力に推進しました。
問7	答え 2 大陸の進んだ技術や仏教の影響を強く受けた、日本で最初の本格的な仏教文化	飛鳥時代は、朝鮮半島や中国大陸から仏教とともに多くの技術者（渡来人）が来日し、建築、彫刻、工芸などの分野で大陸の影響を強く受けた文化が花開きました。法隆寺の西院伽藍に見られる柱の膨らみ（エンタシス）などは、遠くギリシャからシルクロードを経て伝わった文化の関連性が指摘されるなど、国際色豊かな側面も持っています。
問8	答え 1 白村江の戦い	中大兄皇子（のちの天智天皇）は、友好関係にあった百済を再興させるために朝鮮半島へ軍を送りました。しかし、663年に白村江で唐・新羅の連合軍に大敗を喫しました。この敗北により、日本は唐・新羅による日本への侵攻を警戒し、九州に水城を築いたり、対馬や九州に防人を配置したりするなど、防衛体制の強化を急ぐことになりました。
問9	答え 2 防人	唐や新羅の侵攻に備えるため、当時の政府は全国から兵士を徴用しましたが、特に九州北部の警備には「防人（さきもり）」が配置されました。彼らの多くは東国の農民から選ばれ、住み慣れた故郷を離れて厳しい任務に就きました。その苦しみや家族への思いを詠んだ歌は『万葉集』に「防人歌」として数多く収められています。
問10	答え 3 公地公民	大化の改新で出された「改新の詔（みことのり）」の第一条では、豪族が支配していた土地（田荘）や人民（部曲）を廃止し、すべてを国家のものとすることが宣言されました。これが公地公民の制であり、天皇を中心とする律令国家を目指すための重要な基盤となりました。
問11	答え 2 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、天皇に対する忠誠や秩序を保つため	十七条の憲法は、一般市民に向けた刑法ではなく、朝廷に仕える役人（当時の豪族）の政治的な心得を説いたものです。当時は豪族同士の争いが絶えなかったため、儒教が説く「君臣の義」や「礼」の概念を導入することで、天皇を頂点とした上下関係を明確にし、国家組織としてのまとまりを強化しようしました。このため、和を尊重することや、私心を捨てて公務に励むことなどが強調されています。
問12	答え 1 唐の優れた制度を取り入れることで、天皇を頂点とする官僚組織を整え、国家としての統治能力を高めるため。	律令国家の建設は、大陸の先進的な統治システムを導入することで、バラバラだった国内勢力をまとめ上げ、対外的な独立を保つ狙いがありました。二官八省の官僚機構や戸籍の作成、班田収授法の実施などは、すべて天皇に権力を集中させ、安定した徴税を行うための仕組みです。